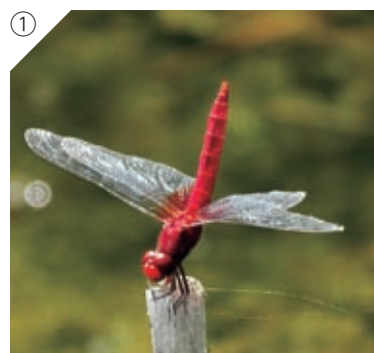


全身真っ赤 - ショウジョウトンボ -

①の写真をご覧ください。翅^{はね}以外、複眼含め全身真っ赤な“ショウジョウトンボ”のオスです。大きさは5cmぐらい。強い縄張り意識があり、池の周囲の決まったルートのパトロールしながら飛び回っています。時々、①の写真のように、お気に入りの場所で翅を休めますが、縄張り内に他のトンボが進入すると、すぐさま攻撃を仕掛けます。名前の由来は、中国の伝説上の妖怪【ショウジョウ（猩猩）】からきています。ショウジョウは、人間の言葉を理解し、大酒飲みで赤ら顔、全身赤色の毛で覆われています。メスは、オスとは大違いで、水辺から離れた木々の中で静かにジッと過ごしているそうです。メスの色はくすんだ黄色に茶色が混じり、とっても地味です。(写真②)

ところで、皆さんに親しまれている「赤とんぼ」はアカネ属の総称で、「アカトンボ」という名前のトンボは存在しません。ショウジョウトンボのオスは全身真っ赤ですが、アカネ属ではないので「赤とんぼ」ではありません。

ショウジョウトンボは北海道南部から九州・四国まで生息しており、主に平地や丘陵地の挺水植物^{ていすい}がよく繁茂する池沼など広範囲な止水域に生息します。陶史の森でも、6月から10月ごろまで池や小川の周りで見られます。全身真っ赤な姿を観察してみてください。



① ショウジョウトンボ♂



② ショウジョウトンボ♀

森	の
日	記

蜂蜜とれるかな - ミツバチ教室 -
6月18日(土)

人気教室のひとつ「ミツバチ教室」を3年ぶりに20組限定で開催し、44人の参加がありました。

初めに岐阜県養蜂組合の赤塚さんからミツバチの生態や蜂蜜のことを聞き、その後、蜂蜜採取を行いました。5月から設置してあった巣箱から蜜棚を取り出し、遠心分離器に入れてハンドルを回すと、黄金に透き通った蜂蜜が出てきました。交代しながらハンドルをみんな回し、濃厚な蜂蜜をいっぱい採取することができました。



陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。

教室のご案内

8月

- バードウォッチング (要申込 定員10人)
8月28日(日) 午前9時～11時
夏の野鳥を観察します。※雨天中止

9月

- 陶史の森まつり
9月3日(土) 午前9時～正午(自由参加)
※シャトルバス(陶史の森セラテクノ)を利用してください。
(雨天順延 9月4日(日))
- 草木染め教室 (要申込 定員10人)
9月11日(日) 午前9時～11時30分
草や木を煮出して白い布を染めます。
- バードウォッチング (要申込 定員10人)
9月25日(日) 午前9時～11時
初秋の野鳥を観察します。※雨天中止

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。